

## 情報報告共有シート

[テキストを入力]

<p>③ 現在の主な支援内容 (①・②以外)</p>	<p>☆支援団体等の受付・調整や各仮設住宅集会所の事業統括。行政や専門機関との連絡調整。</p>
<p>④ 今後の支援予定 ・次年度 ・課題</p>	<p><b>★次年度</b></p> <p>☆仮設住宅残居者の支援方法に関しては、ハード面・ソフト面とも現状よりも細やかな訪問等で情報収集し、関係機関につなぐ。</p> <p>☆公営住宅及び自立再建された方に関しては、被災者支援室と協議し、次年度より定期的な訪問支援実施予定。</p> <p>☆入居者減少によるサロン開催については、生活支援相談員主催お茶っこは中止、若しくは開催の縮小</p> <p>☆支援団体については継続の協力依頼。</p> <p><b>★課題</b></p> <p>☆入居者減少による隣人同士の見守り力の低下</p> <p>☆仮設残居者のメンタルケアとハード面の支援方法</p> <p>☆公営住宅及び自立再建された方に対する支援方法</p> <p>☆みなし仮設(民賃借り上げ住宅)入居者に対する支援方法</p> <p>☆仮設住宅入居者の減少による、これからのお茶っこサロンの開催方針</p> <p>☆震災後の時間経過によるボランティア団体の減少</p>
<p>今まで・これからの協力関係について(社協↔NPO) ※希望・期待も含め</p>	<p>☆今まで、社協・NPO 多少の協働関係はあったが、その活動自体が個々の活動となっていたように感じる。ただ震災当初は仮設住宅入居者への支援という 1 つの目的に向っていたこともあり特に(活動等の深刻な)問題は表出していなかった。しかしこれからは、社協自らがコーディネーターとして、公営住宅、既存地域社会、行政、NPO の間をつないでいく必要があると考える。特に、高齢化が進み、マンパワーが不足していく山元町においては、いかに NPO 等の若い力を取り入れていくかが重要な課題となる。そのためにも、町内外への情報の発信、NPO 等との情報共有の場を増やしていく。積極的に関わっていくことが重要。また、これから表出してくるだろう様々な問題に対して対処していくけるスキルを、社協・NPO とも協働しながら高めていく必要がある。</p>

[テキストを入力]

## 情報報告共有シート(社協)

### 公営住宅の進捗 etc.)

震災当初、仮設住宅は1,030世帯だったが、現在は950世帯にまで減少している。山元町内には8ヶ所の仮設住宅があるが、その内、10%を下回る仮設も出始めている。

▶新山下駅周辺災害公営住宅は188戸が完成し、順次、入居している。(H27・1月迄で166戸入居済) ◆新坂元駅周辺地区はH27・4月から宅地引き渡しが開始される。◆宮城病院周辺地区はまだ調査中(遺跡等)

### 「元キリストを入力」